



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html

枚方市立西長尾小学校 令和5年2月号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
考えて行動できる子ども）
3. 心身ともに健康な子ども

できるようになったことがふえました

—— 学習発表会の取組

西長尾小学校ブログはこちら →



学習発表会に向けた取り組みの中で、子どもたちの努力する姿勢の素晴らしさを強く感じています。



落ち着きと、力強さにあふれ、
これぞ最高学年という圧倒的な姿
を見せてくれている6年生。これま

で培ってきた個々の力を結集してつくる合唱や合奏の質が、練習を重ねるたびに
どんどん向上していくのを見ることが楽しみでした。

5年生は卒業していく6年生のみなさんに安心してもらえる姿を示そうと、

先輩の後ろ姿



を追いかける
ように健気に
努力していま

した。ひと月後には最上級生になるという「しめきり」の迫るなか、学校を支える
一人ひとりになれるだろうかという不安と、そのためにどんな自分であるべきか
について考えることを求められました。日々の取り組みの中で、目の前にある自
分の課題に気づき、自分らしく乗り越えていこうとする姿勢を感じます。

声の響きを大切にしようと練習を重ねてきた4年生。取り組み半ばでみんな

が疲れて、声が出にくくなるほど
頑張っていました。学習発表会の
練習の時だけでなく、優しく、協力
し合い支え合うことの尊さを、何気
ない日常の振舞いからも感じます。



3年生のみなさんは、自分の
身の回りの仲間とともに過ごす

ことが、学校生活の楽しさを何倍
にも大きくしていくことを実感して

いるようです。集団の持つ力の素晴らしさを自覚しつつあるように感じます。



エネルギーに満ちあふれた

2年生。本番間際の練習では、
響きのある全員の声で、体育館
の壁がビリビリ震えるのを感じま
した。協力し合う気持ちにあふれ
た姿でした。優しさを大切にすることを実践し、大きく成長できました。



もうすぐ新しい1年生を迎え

ることになる1年生。お兄さん、
お姉さんになるんだという自覚が、
ひな壇に並んで背筋をピンと伸ば
した凛々しい姿に現れています。

一人ひとりの振舞いに、自分のことだけでなく、同じ学級の仲間のこと大切に
しようという心を感じます。新しい1年生を迎える準備ができてきているようです。



演劇的手法を生かしたコミュニケーション授業

2月15日、二人の舞台俳優の方々にご協力をいただき、1年生へコミュニケーション力を高めるための授業を行いました。

「なにをやっているのでしょうか」あてっこ(グループで行うジェスチャーゲーム)をしました。

まず、4から5人のグループごとに遊びやスポーツなどの「お題」が与えられます。それぞれのグループが与えられたお題を観客にジェスチャーだけで伝えるように相談し、練習します。その後、舞台上で順番に演技をし、観客にその「お題」を当ててもらうゲームです。(お題は、ドッジボール、つなひき、そうじ、かくれんぼ、だるまさんがころんだ でした)

各学級1時間の取り組みでしたが、子どもたちは積極的にグループで相談し、自分たちで伝える表現を考えて、演じていました。

授業の後、振り返りの時間をとりました(タブレットを使ってアンケートを行いました)。

気づいたこと、わかったこと、新しく知ったことを自由に書いてもらいました。その中の一部を紹介します。

- ・ぶたいのうえではっぴょうすることがわかった。
- ・はじめてゲキでやくしました。
- ・みんなやさしいときづいた。
- ・人のいいことを見つけること。



何をやっているのか見ている人が答えます。



写真のお題は「だるまさんがころんだ」です。



お題は「ドッジボール」、ボールが当たったところです。ボールはないのに、あるように見えました。



- ・じぶんのことをじしんもてるようになった。
- ・きょうりよくはだいじだとおもいました。
- ・きょうねばりということがわかった。
- ・かんたんなげきのしかたがわかった。
- ・さいしょはむりとおもってたけどできた。
- ・むずかしいときもあった。
- ・ともだちが、がんばってはっぴょうしてるところがうれしいのがさいきん思います。
- ・げきをしたのしかた。
- など

この取組には、次のような創造的で主体的・対話的な行動が求められます。出された課題(何をやっているところかを演じる「お題」)に対して、

- 1) 自分たちでどう演じるかを相談
 - 2) 自分たちで役割を決める
 - 3) 自分たちで練習し、内容をよりよく検討し、準備をする
 - 4) 自分たちの力で発表する
- さらに、
- 5) 他のグループの発表を鑑賞し、より良い発表を受けとめる
- といった観客としての姿勢も学びます。

これらの取り組みは、創造性(クリエイティビティ)、協働するための力(コミュニケーション・コラボレーション)、伝える表現を検討判断する力(クリティカルシンキング)、そして、完成させて発表するまでの粘り強さ(チャレンジ)といった、これからの教育における大切にしたい非認知能力(いわゆる「枚方の教育において大切にしたい5つの視点」)を網羅しています。

このような演劇を生かした教育活動は、学年が上がるにつれて音声言語も活用したものとなっていきます。話し言葉による日常のコミュニケーションを、意図的に、創造性を持って疑似体験できるものが演劇です。これによって前向きな他者理解力を育むことができます。

次年度は全学年で系統性のある演劇的手法を活用した教育の実践をしていきます。